

最後に「のぞく」と「うかがう」の特徴を簡単にまとめてみる。

のぞく：障害物にある「穴」(に類したもの) ないし、視野を限定するもの(望遠鏡など)に接近したり、顔をそちらの方へ向けたりにして、そのむこう側にある対象を見る。

うかがう：ひそかに、様々な感覚を用いて対象の状態を知ろうとする。(接近等の動作は伴わないことが多い。)また、派生的に「好機をまちうける」という意味をもつこともある。

<注1> (18)で、ヲ格が「敵陣の様子」のような「状態」を表す語でなくてもそれほど不自然ではないのは、「敵陣」という語に「様子」ということまで読み込むことができるからであろう。

<注2> 「障害物」は前節で述べたように、感覚のおよぶ範囲(主に視野)を限定するものであると

時に、「のぞく」ないし「うかがう」主体の姿を対象もしくは第三者に見られないための道具」ともなりうる。

<注3> (39)(41)はいずれも、「のぞく」と「うかがう」の共通する意味として最初にあげた「ひそかに見る」という意味をもたない例でもある。

<注4> 『広辞苑第三版』の「のぞく」についての記述で、「間を隔てる障害をとりつけて見る」というものがあるが、他の辞書を見ても同様の記述は見当らず、また筆者自身今のところそのような用法に出会ったことがない。「除く」と混同してしまったのだろうか。

<注5> したがって、3.2.で述べた主体と対象との距離の差は、目の接近の有無から生じた余剰的特徴と考えられる。

言語経歴：1963年1月豊島区生現在に至る。
(東京都立大学学生)

日本語の「むすぶ」「つなぐ」と中国語の「系」「結」「接」「連」

閻 小妹

1. はじめに

小稿では、日本語の「むすぶ」「つなぐ」と中国語の「系」「結」「接」「連」を比較分析してみたい。

まず『岩波国語辞典第三版』の「むすぶ」と「つなぐ」の記述を次に示す。

「むすぶ」①つなぎ合わせる。②糸・ひも等の端を組んで締め、離れないようにする。③二つ以上のものをつなぐ。④固く閉じる。⑤まとまった状態にする。⑥締めくくりをつける。⑦構えつくる。⑧ある状態やまとまりを生ずる。

「つなぐ」①ひも・綱などで物を結びとめて離れないようにする。結びとめる。②離れているものを一つに結ぶ。③長く続けて絶やさないようにする。もちこたえる。

次に『新明解国語辞典第三版』の記述を示す。

「むすぶ」⊖一定の手順に従って、一体化された・(今まで無かった新しい)状態を作る。⊖あ

る結果を生じる。

「つなぐ」⊖継いだりひも・綱などで結わえたりして一続きにし、解け離れないように・する(しておく)。⊖[同類のものを]結びつけて、(長く)一続きの物にする。⊖離れている物を結びつけて、互いに・意志が通じる(連絡がとれる)ようにする。⊖[とぎれそうな物を]なんとか持ち続くようにする。

次に、二語に対応すると思われる中国語の「系」「結」「接」「連」についての『現代漢語辞典』『漢日辞典』の記述をまとめて記しておく。

系① 打結、扣。(結ぶ、締める)

② 栓、綁。(つなぐ、しばる、くくる)

③ 把人或東西捆住后往上提或向下送。(ひもやなわでつるす)

結① 在条状物上打疙瘩或用這種方式制成物品。(結ぶ、ゆわえる、くくる、編む、すく)

② 凝聚。(固まる)

③ 結束。(結末をつける)

接① 連接, 使連接。(続く, 続ける, つながる, つなぐ)

② 托住, 承受。(受ける, 受けとめる)

③ 接受。(受ける, 受けとる)

④ 迎接。(迎える, 出迎える)

⑤ 接替。(引き継ぐ, 受け継ぐ, 交代する)

連① 連接。(つながる, つらなる)

② 連続。(続けざまに, 引き続き)

『漢日辞典』では, 中国語の「系」と「結」は日本語の「むすぶ」に, 「接」と「連」は「つなぐ」に対応させられている。

2. 分析

以下では, 日本語の「むすぶ」「つなぐ」と中国語の「系」「結」「接」「連」とを比較していくが, 日本語については, 柴田編1976, p.75の分類を参考にした。

① 何かそれ自身をととのった形にまとめる。

② 細長い物でAをBに連結する。

③ 細長い物で何かを一つにまとめる。

④ AとBとの間を埋めるように連結する。

以下では, これを参考にしながら, これと若干異なった分類に従って分析を進める。

2.1. ひも状のもの同士の結び目のある結合

まず, 二本のひも状のものを互いに縊り合わせることで, 結び目を作って結合する場合をみてみたい。

(1) 糸を むすぶ。

(2) 系線。

(3) 結線。

(4) 糸を つなぐ。

(5) 接線。

(6) ?連線。

(7) なわを むすぶ。

(8) 系繩子。

(9) 結繩子。

(10) なわを つなぐ。

(11) 接繩子。

(12) ?連繩子。

以上のように, ひも状のもの同士を結び目を作って結合する場合, 日本語では「むすぶ」も「つなぐ」も使うことができるが, 中国語では「系」「結」「接」は使えるが, 「連」は上に示した例文のような構文では使えない。ただし, 日本語でも中国語でもこの他に二種類の構文が可能であり, これらの構文では「連」も自然に使うことができる。これは, 意味的な要因とは

別のものが働いているのではないと思われるので, 「連」も基本的には使えると考えたい。

(13) 赤い糸と青い糸とを むすぶ。

(14) 把紅線和藍線系起来。

(15) 把紅線和藍線結起来。

(16) 赤い糸と青い糸とを つなぐ。

(17) 把紅線和藍線接起来。

(18) 把紅線和藍線連起来。

(19) 赤い糸を 青い糸に むすぶ。

(20) 把紅線系到藍線上。

(21) 把紅線結到藍線上。

(22) 赤い糸を 青い糸に つなぐ。

(23) 把紅線接到藍線上。

(24) 把紅線連到藍線上。

これらは, 次のようにまとめられる。

(i) NP₁ヲ V (むすぶ/つなぐ)

(i') V (系/結/接/?連) NP₁

(ii) NP₁トNP₂トヲ V (むすぶ/つなぐ)

(iii) 把NP₁和NP₂ V (系/結/接/連) 起来

(iii') NP₁ヲ NP₂ニ V (むすぶ/つなぐ)

(iii'') 把NP₁ V (系/結/接/連) NP₂上

この三つの場合に, 「むすぶ」「つなぐ」動作それぞれは同じことであると考えられる。そして, 中国語の「系」「結」「接」「連」もほとんど同様に使われる。

2.2. 二点の連結

ここでは, 隔った二点の間を何かで連結する場合をみてみたい。

(25) A点とB点を 直線で むすぶ。

(26) *把A点和B点用直線系起来。

(27) *把A点和B点用直線結起来。

(28) ?A点とB点を 直線で つなぐ。

(29) 把A点和B点用直線接起来。

(30) 把A点和B点用直線連起来。

この場合, 「むすぶ」は使えるが, これに対応する「系」「結」は使えない。中国語の「系」「結」は, 普通, 結び目を作ることで結合するという意味を表わすのに使われるので, そうでない場合は使えないのである。この場合にもっとよく使われる語は「連接」である。

(31) 把A点和B点用直線連接起来。

以上は, 動作的な連結の場合であったが, 動作性のない場合は, 日本語では, 「むすぶ」「つなぐ」両方使われるが, 中国語では, 「系」「結」「接」「連」いずれも使えず, 「連接」しか使われない。

(32) A棟とB棟を むすぶ: 道

- (33) *系A棟和B棟的道路
- (34) *結A棟和B棟的道路
- (35) A棟とB棟を つなぐ 道
- (36) ?接A棟和B棟的道路
- (37) *連A棟和B棟的道路
- (38) 連接A棟和B棟的道路
- (39) 本州と四国を むすぶ 橋
- (40) *系本州和四国的橋梁
- (41) *結本州和四国的橋梁
- (42) 本州と四国を つなぐ 橋
- (43) *接本州和四国的橋梁
- (44) *連本州和四国的橋梁
- (45) 連接本州和四国的橋梁
- (46) 本州と北海道を むすぶ トンネル
- (47) *系本州和北海道的隧道
- (48) *結本州和北海道的隧道
- (49) 本州と北海道を つなぐ トンネル
- (50) *接本州和北海道的隧道
- (51) *連本州和北海道的隧道
- (52) 連接本州和北海道的隧道

2.3. 結び目のない結合

2.1.でもみたように、「むすぶ」「つなぐ」は二本のひも状のものを結び目を作って結合することを表わせる。そして、中国語の「系」「結」「接」「連」も同様である。

- (53) 二本の帯を むすぶ。
- (54) 把两条帶子系起来。
- (55) 把两条帶子結起来。
- (56) 二本の帯を つなぐ。
- (57) 把两条帶子接起来。
- (58) 把两条帶子連起来。

ところが、次にみるように、結合の方法が結び目を作ることによってではなく、(62)のように縫うことによって、(68)のように「糊」を使うことによってなされる場合には、「むすぶ」は使えない。これに対して、「つなぐ」は、いろいろな方法の場合に使える。そして、中国語では、「系」「結」は結び目を作ることによる場合に限られ、「接」「連」には、「つなぐ」と同様、そのような制限がない。

- (59) *二本の帯を ミシンで むすぶ。
- (60) *用縫紉机把两根帶子系起来。
- (61) *用縫紉机把两根帶子結起来。
- (62) 二本の帯を ミシンで つなぐ。
- (63) 用縫紉机把两根帶子接起来。
- (64) 用縫紉机把两根帶子連起来。

- (65) *紙を 糊で むすぶ。
- (66) *用漿糊把紙系起来。
- (67) *用漿糊把紙結起来。
- (68) 紙を 糊で つなぐ。
- (69) 用漿糊把紙接起来。
- (70) 用漿糊把紙連起来。

さて、以上では、ひも状のものの結合をみてきたが、そうでないものの結合の場合はどうであろうか。

- (71) *釘で 二枚の板を むすぶ。
- (72) *用釘子把兩塊木板系起来。
- (73) *用釘子把兩塊木板結起来。
- (74) 釘で 二枚の板を つなぐ。
- (75) 用釘子把兩塊木板接起来。
- (76) 用釘子把兩塊木板連起来。
- (77) *貨車を 二十輛 むすぶ。
- (78) *把二十節貨车系起来。
- (79) *把二十節貨車結起来。
- (80) 貨車を 二十輛 つなぐ。
- (81) 把二十節貨車接起来。
- (82) 把二十節貨車連起来。
- (83) *電話を むすぶ。
- (84) *系電話。
- (85) *結電話。
- (86) 電話を つなぐ。
- (87) 接電話。
- (88) ?連電話。

このように、「つなぐ」は、ひも状のもの以外のものの結合を表わすことができる。これに対応する中国語の「接」「連」もこの用法を持っている。そして、「つなぐ」も「接」「連」も同じように、結合させる対象は、ほとんど無制限のようである。つまり、木の板、車輛などもその対象となりうる。一方「むすぶ」と「系」「結」の結合する対象といえば、ひも状、帯状のような軟かいものに限られている。

2.4. ひも状のものとは非ひも状のものとの結合

「むすぶ」も「つなぐ」もひも状のものをひも状でないものに結合することも表わせる。中国語の「系」「結」「接」「連」にも同様の用法がある。

- (89) ひもを 柱に むすぶ。
- (90) 把繩子系在柱子上。
- (91) 把繩子結在柱子上。
- (92) ひもを 柱に つなぐ。
- (93) 把繩子接在柱子上。
- (94) 把繩子連在柱子上。

- (95) ?ともづなを 岸に むすぶ。
- (96) 把纜繩系到岸上。
- (97) 把纜繩結到岸上。
- (98) ともづなを 岸に つなぐ。
- (99) 把纜繩接到岸上。
- (100) ?把纜繩連到岸上。

ただし、この場合も、「むすぶ」は結び目を必要とするだろう。

次に、次のような文をみてみたい。

- (101) *馬を 木に むすぶ。
- (102) ?把馬系到樹上。
- (103) *把馬結到樹上。
- (104) 馬を 木に つなぐ。
- (105) *把馬接到樹上。
- (106) *把馬連到樹上。

(104)の場合、「馬」も「木」もひも状でないものであるが、実際には、「馬」をひも状のものを使って「木」に結合することである。これもひも状のものとは非ひも状のものとの結合と考えられる。このような用法は、日本語の「つなぐ」にはあるが、日本語の「むすぶ」、中国語の「系」「結」「接」「連」にはない。(104)に相当する中国語の文は、次の(107)で、「拴」が使われる。

- (107) 把馬拴到樹上。

2.5. 整った形にまとめる。

柴田編1976にあるように、「むすぶ」には、「何かそれ自身をととのった形にまとめる(p.75)」ことを表わす用法がある。これは「つなぐ」にはない。同様にして、中国語の「系」「結」にはこの用法があるが、「接」「連」にはない。

- (108) 帯を むすぶ。
- (109) 系帶子。
- (110) 結帶子。
- (111) *帯を つなぐ。
- (112) *接帶子。
- (113) *連帶子。
- (114) 靴のひもを むすぶ。
- (115) 系鞋帶。
- (116) ?結鞋帶。
- (117) *靴のひもを つなぐ。
- (118) *接鞋帶。
- (119) *連鞋帶。
- (120) ネクタイを むすぶ。
- (121) 系領帶。
- (122) 結領帶。

- (123) *ネクタイを つなぐ。
- (124) *接領帶。
- (125) *連領帶。

2.6. その他

ここでは、これまで扱えなかった例についてみてみたい。

- (126) 良い縁を むすぶ。
- (127) *系良縁。
- (128) 結良縁。
- (129) 同盟を むすぶ。
- (130) *系盟。
- (131) 結盟。

今までなかった新しい状態を作るという抽象の場合には、「むすぶ」に相当する中国語の「結」が同様に使われるが、「系」は使えない。

- (132) 手を むすぶ。
- (133) *系手。
- (134) *結手。
- (135) 口を 堅く むすぶ。
- (136) *緊系住嘴。
- (137) *緊結住嘴。

「むすぶ」の比喩的な表現には、中国語の「系」「結」とも使われない。「手をむすぶ」に相当する中国語は「握手」(固く手を握る)であり、「口を堅くむすぶ」は「緊閉住嘴」(口をしっかりと閉じる)という表現になっている。

とぎれそうな物をなんとか持ち続くようにする場合には、「つなぐ」に対応する「接」「連」とも使いにくい。

- (138) 命を つなぐ。
- (139) *接命。
- (140) *連命。
- (141) 一筋の希望を つなぐ。
- (142) *接一線希望。
- (143) *連一線希望。

例文(138)を、中国語で表現すれば、「維持生命」(なんとか生きている。)になっていて、例文(141)は、「有一線希望」で表わす。

3. 結び

日本語の「むすぶ」「つなぐ」と中国語の「系」「結」「接」「連」を比較しながら分析してきたが、「むすぶ」と「系」「結」、「つなぐ」と「接」「連」それぞれ対応する例が多いと言っても、パラレルに使うことができるわけではない。

次に、小稿の分析をまとめておく。

	むすぶ	系	結	つなぐ	接	連
ひも状のもの同士の結び目のある結合	○	○	○	○	○	○
二点の連結（動作的）	○	×	×	○	○	○
〃（非動作的）	○	×	×	○	×	×
結び目のない結合	×	×	×	○	○	○
非ひも状のもの同士の結合	×	×	×	○	○	○
ひも状のものと非ひも状のものとの結合	○	○	○	○	○	○
整った形にまとめる	○	○	○	×	×	×

言語経歴：1953年4月から1983年2月まで中

国

1984年4月まで横浜市神奈川区

現在東京都目黒区

（東京都立大学大学院学生）

山口県長門方言切断動詞の意味分析

——ツムに連なる動词语彙——

藤田勝良

1. はじめに

共通語の切断動詞「つむ」は、柴田編1976の指摘するように成長物を切断対象とする。ただし、成長物といってもそのほとんどは植物である。柴田編1976により、その切断対象を列举すると次のようなものがある。

「桑の葉」「レンゲ草」「花」「セリ」「ヨモギ」「綿の花」「苺」「羊の毛」「葡萄の房」「木の芽」

一方、全国方言の実態を記した辞書類の記述をみると西部方言のうちに、「つむ」が共通語に比べより広い対象に用いられる地域のあることがわかる。たとえば『日本国語大辞典』の、つむ【摘・採・抓】の方言の項には次のようにある。

②髪を刈る。散髪する。兵庫県赤穂郡・広島県高田郡・熊本県下益郡

③はさみで切る。石見「紙をつむ」「髪の毛をつむ」「爪をつむ」徳島県「髪をつむ」「爪をつむ」愛媛県「紙をつむ」「髪をつむ」「爪をつむ」高知県「夜つめをつむものではない」

また、筆者が1983、1984両年に東京在住の若年層を主な調査対象として行なった調査でもこのことは次のように確められた。

(表1)

話者	対象			
	髪 の 毛	爪	紙	糸
北海道札幌市(1962)6~18	×	×	×	×
岩手県盛岡市(1962)0~18	×	×	×	×
埼玉県朝霞市(1958)3~現在	×	×	×	×
東京都豊島区(1962)0~現在	×	×	×	×
岐阜県美濃加茂市(1962)0~18	×	×	×	×
愛知県知立市(1958)0~23	×	×	×	×
福井県武生市(1954)0~18	×	×	×	×
徳島県石井町(1955)0~18	×	×	×	×
愛媛県松山市(1959)4~18	○	○	×	×
高知県高知市(1964)0~18	○	○	○	×
広島県五日市町(1960)0~現在	○	○	×	×
山口県長門市(1958)0~18	○	○	○	○
福岡県久留米市(1963)0~18	?	○	×	×

注：話者の欄は出身地、生年、居住期間の順に記す。

本稿ではこのように「つむ」の切断対象の広がりがみられる西部方言の中から山口県長門方言をとりあげ、ツムを中心とした切断動词语彙の意味の分析記述を行